

平成 24 年 5 月 10 日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目 1 番 28 号  
虎ノ門タワーズオフィス  
フィンテック グローバル株式会社  
代表取締役社長 玉井 信光  
(コード番号：8789 東証マザーズ)  
問合せ先：取締役 執行役員 経営管理部長  
鷲本 晴吾  
電話番号：(03) 5733-2121

### 特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 9 月期第 2 四半期累計期間（平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）決算において、特別損失を計上いたしますので、その概要をお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 個別決算における関係会社株式評価損の計上

当社の連結子会社である F G I キャピタル・パートナーズ株式会社（F G I C P）は、グローバルマクロ運用の運用成績低迷、及びベンチャー投資運用の投資先企業がエグジットしなかったことにより第 2 四半期において成功報酬収益が計上できず、また平成 23 年 11 月より提供を開始した投資運用戦略（イベント・ドリブン戦略）についても、A I J 問題の影響で年金基金等による新規の運用委託は第 2 四半期末にかけて様子見となり資産運用残高の積増しのペースが鈍ってきております。これらの同社の事業環境及び今後の見通しを総合的に勘案して同社株式について減損処理を実施し、関係会社株式評価損 324 百万円を特別損失として計上します。なお、当該特別損失は連結決算上は相殺消去されるため、連結業績への影響はありません。

#### 2. 連結決算におけるのれん償却額の計上

上記減損処理に伴い、連結決算上 F G I C P に係るのれん償却額 126 百万円を特別損失に計上します。

#### 3. 業績に与える影響

平成 24 年 9 月期第 2 四半期連結累計期間の業績は、本日発表しました平成 24 年 9 月期 第 2 四半期決算短信のとおりであります。平成 24 年 9 月期の通期連結業績予想については、変更ありません。

なお、上記の状況を踏まえ、第 3 四半期より F G I C P の経営者、体制を刷新したうえで、A I J 問題を契機とした運用会社の選別の動きに、厳格なコンプライアンス態勢、上場会社の子会社としての信用力並びに充実した運用体制、独自の運用商品をもって対応し年金基金等からの資金受託の積増しを企図いたしております。また、あわせて業務合理化による販売費及び一般管理費の削減も進め、業績向上に努めて参ります。

以 上